

～光の子として歩みなさい～

(聖書 エフェソの信徒への手紙5章8節)

NO.11 学校法人岩手キリスト教学園機関誌  
Jul.2024

# きらめき

特集 選ばれる魅力的な園になるために

盛岡4園 管理職座談会

青山幼稚園 創立70周年

# 「若き日に」

岩手キリスト教学園  
認定こども園のぞみこども園  
認定こども園青山幼稚園  
日本キリスト教団館坂橋教会

理事長  
園長  
園長  
牧師

むらかみ よしはる

村上 義治



児童文学作家で翻訳家でもあった  
石井桃子氏（1907年～2008  
年）が2001年94才になられたと  
き次のように述べておられます。

子どもたちよ  
子ども時代を しっかりと  
楽しんでください。  
おとなになつてから  
老人になつてから  
あなたを支えてくれるのは  
子ども時代の「あなた」です。

この言葉は、もうすぐ77才になる私  
にとって「そうだ」と納得できる発  
言です。ふりかえつて不思議と年か  
さを重ねることに幼い時の自分を思  
い浮かべます。そして、その時の自  
分に振り返り今を生き抜こうとします。

## ■高齢者は

一般的に年をとつたら暗い未来を  
描きそうになります。実際は、加齢  
のためネガティブな事が増えます。  
しかし、「高齢者の幸福感は低くな  
い」というエイジングパラドックス  
(Ageing Paradox) 現象があります。  
それが、全ての人に出来るわけでは  
ありません。出来る人をパターン化  
すれば有意義な研究かと思えます  
が、個人的推測では幼少時代の育ち  
と係わっているのではと考えていま  
す。

## ■統計からの問い

文部科学省の統計に「社会構造と  
子供たちを取り巻く環境の変化」に  
18才の若者の国際比較があります。  
六項目のうち二つについて紹介しま  
す。

◆自分で国や社会を変えられると思  
う

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| インド | 83.4% | アメリカ | 65.7% |
| 中国  | 65.6% | イギリス | 50.7% |
| ドイツ | 45.6% | 韓国   | 39.6% |
| 日本  | 18.3% |      |       |

## ◆将来の夢を持っている

|      |       |     |       |
|------|-------|-----|-------|
| 中国   | 96.0% | インド | 95.8% |
| アメリカ | 93.7% | ドイツ | 92.4% |
| イギリス | 91.1% | 韓国  | 82.2% |
| 日本   | 60.1% |     |       |

## 統計から見る日本の若者の姿は、

まことに残念ですが、自己肯定感が  
低くいわゆる非認知能力が欠如して  
いるのではと言わざるを得ません。

ただその原因は、彼等自身にある  
のではなく、長い間続いているパプ  
ル崩壊後の日本社会と教育界のあり  
方が影響しているのではと推測して  
います。そのため現今の若年層が高  
齢化し、どんな老後を送るのかと想  
像する時、物的環境はともかく内的  
(精神的) 状況はどうなるのか気に  
なります。杞憂に過ぎなかったと願  
うばかりです。

## ■聖書では

旧約聖書に「コヘレト（伝道者）  
の言葉」と言う書があり十二章から  
なっています。決して大書ではあり  
ません。しかし、短い中に珠玉の言  
葉がちりばめられ、愛読される方が  
多くいます。この書の主眼とするこ  
ころは、いかに有意義な人生を送る  
かです。というのには、コヘレトが世  
の現状を「空（くう）の空（くう）」と  
しか言いようがないと説いていま  
す。たといそうであったとしても、  
彼は「生きることの素晴らしさ、生  
きていて良かった」と言える人生の  
秘訣を指し示しています。それは、  
この書最後の十二章冒頭で

「若き日に、あなたの造り主を心に  
刻め。災いの日々がやって来て『私  
には喜びがない』と言うよわいに近

づかないうちに。」（聖書協会共同  
訳）と語ります。

## ■若い日にこそ

若い日とは、どの年齢かその問い  
は他にして、人生の土台を築く幼少  
期として考察してみたいと思いま  
す。この時期の最も重要な事は、正  
常な愛着形成です。それを基礎に社  
会性を育み、非認知能力を身につ  
け、創造的に生きる術を手に入れる  
事だと一般的に説かれています。確  
かにそうだと信じています。

ただ、全ての人が環境的にそのよ  
うな機会で育つ事は出来ません。そ  
の育ちは千差万別です。さまざまな  
格差に翻弄されています。だとした  
ら仕方ない、まさに「空の空」とし  
か言いようがありません。

そこで、コヘレトは、全ての人  
を、愛される「造り主」である神を  
「若い日」に「心に刻め」と勧めま  
す。差別なく寄り添われる神との長  
い年月がその人自身を変え、全ての  
人に等しく訪れる「災いの日々（高  
齢）」になったとき、その真価が発  
揮されると語ります。

当学園は、キリスト教保育をその  
旨としています。それは、お預かり  
した全てのこども達のその時だけで  
なく、その一生が祝福に満ちたもの  
となる基礎造りで、その上に確かな  
人生を築いて欲しいと願い取り組ん  
でいます。



## 特集

# 選ばれる魅力的な園を目指して

## 特色を活かす連携交流 盛岡4園座談会



岩手キリスト教学園は、キリスト教保育を柱とし、認定こども園や保育所など12の子どもの施設（育ちの場）を運営しています。コロナ禍、少子化の加速、情報技術の急速な進展など、既存の価値観が通用しない予測困難な時代。子どもたちが未来を力強く歩むために、どんな保育が求められているのでしょうか。また、多様な子育て支援ニーズに応えていくために、どんな工夫が必要なのでしょうか。

盛岡市内には、青山幼稚園（幼稚園型認定こども園）、のぞみこども園（幼保連携型認定こども園）、上堂ホサナ保育園（小規模保育園）、きたぐり保育園と、制度上も定員も異なる4つの園があり、それぞれの特色を活かしつつ、連携して保育に取り組んでいます。保育現場を担う4施設の管理職者が意見を交わしました。



# 選ばれる魅力的な園になるために～盛岡4園管理職座談会

青山幼稚園

副園長 阿部 一枝

上堂ホサナ保育園

園長 千葉 真理子

のぞみこども園

教頭 千葉 律子

きたくり保育園

園長 前田 直子

(写真左から)



園の特徴と課題は？

**千葉真** 上堂ホサナ保育園は、小規模保育所の特徴を生かしアットホームな雰囲気の中で、子どもたち一人ひとりを大切にしたいという気持ちで先生たちからあふれています。うちのの方と一緒に一日を過ごす環境と近い環境で、保育園生活を安心して始められる点をアピールしていきたいです。認知度を上げていくことが大きな課題で、ブログやインスタでの発信や未就園児を対象にした子育て支援活動も始めました。

**前田** きたくり保育園は2023年に盛岡市から移管され、岩手キリスト教学園の園としては2年目。始めからキリスト教保育を選んで入園させた訳ではない保護者が大半なので、公立保育所時代にしてきた活動は大事にしながら、キリスト教保育の良さを無理なく伝えていく取り組みを少しずつ進めています。朝夕方まで10時間以上保育園で過ごす子どももいて、子どもの生活を守るのと同時に、仕事をしている保護者をサポートする役割が大きい。幼稚園や認定こども園に比べると園行事は少なめで、その分、ゆったり子どもたちが遊べる時間を確保できています。

一方で、保育所は、おうちの方の

働き方などライフスタイルが変わり、子どもの認定が2号から1号に変わると制度上、退園しなければならず、もどかしさを感じます。認定こども園であれば2号から1号に変わったとしても在園できます。保護者の働き方が多様化し、勤務時間もライフスタイルも短いスパンで変化が生じやすい時代。子育てと仕事の両立のサポートを考えたとき「保育所」という施設の課題も見えてきました。

**千葉律** のぞみこども園はふだん3歳未満児（2階）と3歳以上児（1階）に分かれて生活しています。未満児クラスから以上児クラスに進級するとき、保護者はその成長に目を細めると同時に期待も大きいと感じます。また年長組では、運動会の組み体操・クリスマス祝会でのページェント（聖誕劇）に取り組みます。当園で伝統的に引き継がれているもので、特に園児が以上児になった時から憧れているものです。保護者・卒園児も楽しみにしています。もちろん日々の保育では、園児一人ひとりの育ちにきちんと目を向け気配りを心がけています。

**阿部** 青山幼稚園は3歳以上児を青山幼稚園で受け入れ、2歳児は併設している保育機能施設すみれで受け

入れています。近くのスイミングスクールの利用や外部講師による体育教室なども取り入れていて、共働き家庭の保護者からは、習い事になかなか連れていけないので助かる、という声もいただきます。幼稚園の歴史が長く、保育所に比べると親が関わる行事也多め。保育が必要な2号認定児も幼稚園に入園でき、仕事をしている親が増えている現状を考えると園行事の回数や内容を見直す時期がきていると感じます。

また、保育の質をさらに向上させるために職員の研修も必要と考えています。



保育交流で一緒に遊ぶ  
上堂ホサナ保育園と  
青山幼稚園の2歳児

## 「認定区分」とは？

幼稚園・認定こども園・保育園、いずれに通う場合も「認定区分」が必要です。1～3号があり、住んでいる市町村から認定を受けます。



| 指定区分 | 年齢   | 該当事由        | 利用施設       |
|------|------|-------------|------------|
| 1号   | 3～5歳 | 保育の必要性は問わない | 幼稚園・認定こども園 |
| 2号   | 3～5歳 | 保育の必要性あり    | 保育園・認定こども園 |
| 3号   | 0～2歳 | 保育の必要性あり    | 保育園・認定こども園 |

●1号認定（教育標準時間認定）…幼稚園・認定こども園を利用できる。3～5歳が対象。

●2～3号認定（保育認定）…保育園・認定こども園を利用できる。就労、疾病、障害などで保育が必要な家庭。

## 幼稚園・認定こども園・保育園の違いは？

岩手キリスト教学園は、盛岡市内4園のほか、認定こども園めぐみ遠野聖光こども園（遠野市）、認定こども園ひかりの子（紫波町）、認定こども園宮古ひかり（宮古市）、アガベ保育園（紫波町）、ぶどうのき（宮古市）が、それぞれの歴史、特色を大切にしながら、共に歩んでいます。

青山幼稚園  
（幼稚園型認定こども園）

遠野聖光こども園  
ひかりの子  
のぞみこども園  
宮古ひかり  
（幼保連携型認定こども園）

上堂ホサナ保育園  
アガベ保育園  
（小規模保育事業A型）

ぶどうのき  
（家庭的保育事業）

きたくり保育園  
（認可保育所）

### 認定こども園

幼稚園と保育園の機能や特長を合わせ持ち、地域の子育て支援も行う。幼保連携型の4園は0～5歳（1・2・3号認定児）が対象。幼稚園型青山幼稚園は、保育機能施設すみれを併設し満2歳からの受け入れが可能。1号認定児は満3歳から受け入れ。

### 小規模保育園・家庭的保育事業

保護者の就労などで保育が必要な0～2歳児が対象。定員は上堂ホサナ保育園12人、アガベ保育園19人、ぶどうのき5人。少人数のため、家庭的で手厚い保育が特徴。3歳児以降に過ごす園は再度、希望する園へ保育を申請し市町村の審査を受ける必要があるが、連携園への入園は認められる場合が多い。

### 保育所

保護者の就労などで保育が必要な0～5歳児（2号認定児と3号認定児）が対象。きたくり保育園は、ふだん通園していない子どもを一時的に保育する「一時預かり」や保育中に体調を崩した子どもをお迎えまで預かる「病児保育（体調不良児対応型）」にも対応。



## 子育て支援活動 青山・のぞみ合同企画

## お花の寄せ植えに挑戦！

未就園児の親子を対象にした「あおやまみるきくらぶ」が6月5日、青山幼稚園ホールで開かれました。青山幼稚園・のぞみこども園の合同企画。親子7組がプロの指導で、サフィニアジャスミンなど季節の草花の寄せ植え作りに挑戦しました。

小さなお子さんは別室で託児。お母さんたちが心置きなく楽しめる環境をつくり、リフレッシュしてもらいました。一緒に土いじりができる年齢のお子さんは、お母さんと一緒に参加。プランターに土を盛ったり、花を選んだり。子どもたち同士が仲良く遊ぶ様子も見られ、刺激になったようです。参加したお母さんの一人は「子どもはかわいいのですが、ずっと2人きりだと疲れることも。ほっとできる時間はありがたいです。娘にとっても他のお友達と遊ぶ良い機会になりました」と話していました。

未就園児親子などを対象にした、子育て支援活動は各園で行われています。絵本の読み聞かせ、ベビーマッサージ、ヨガ、飾り巻き寿司レッスン、コーヒーセミナー、お店やさんごっこなど内容も多彩です。子育てについて気軽に相談でき、園の様子を知る機会にもなりますので、ぜひ、ご利用ください。



## 選ばれる 魅力的な園になるために

### 盛岡4園管理職座談会

(3ページから続く)

それぞれの園の強みを活かす連携にどのように取り組んでいますか？

**千葉真** 青山幼稚園との保育交流には以前から取り組んで来ましたが、今回、チャグチャグ馬コの訪問にあわせてのぞみこども園に、お招きいただきました。それで初めて、のぞみこども園の保育に2歳児が参加しました。園庭で大きなお馬さんとの出会いのあと記念写真を撮り、同じ2歳児の保育室で大勢の園児に圧倒されながらも一緒に歌を歌ったりして楽しそうでした。ふだんは3人だけのクラスなので、良い刺激になったと思います。

**千葉律** 上堂ホサナ保育園からののぞみこども園へ進むのを希望している子どももいて、改めて交流機会が大事だと感じました。今回、チャグチャグ馬コにご案内できて良かったです。盛岡4園の連携でもっと声をかけ交流の幅を広げても良かったと思います。

**阿部** まだ実現はしていませんが、青山幼稚園はIGR青山駅のそばなので、園児が電車に乗って、青山駅から一駅の厨川駅近くにあるきたくり保育園を訪問し、交流してはというアイデアもあります。

**前田** 昨年、年長組が電車に乗って県営体育館まで遊びに行く体験をした時、偶然、遊びに来ていた青山幼稚園の園児さんたちと出会い、一緒に遊びました。互いに計画を工夫すれば、園児たちの体験機会を増やす連携、交流はもっと持てますね。給食も今年度から、きたくり保育園から上堂ホサナ保育園への搬入が始まり、食育に関する教職員同士の話し合いも定期的に行われています。

**阿部** 青山幼稚園は満2歳児からお預かりすることが出来ます。未就園児を対象にした子育て支援を充実させることにより、入園希望者が増えることを期待しています。のぞみこども園と連携し合同の活動日を持つことによって発信力が増したと感じています。子育て支援活動の「みるきくらぶ」には育児休業中のお母さんや現在は仕事をしていたとしても、子どもを園に預けたら仕事を始めたいというお母さんも参加します。それがご縁で「満3歳児」(1号認定児)からの入園を希望される方が多くあります。

「子どもの主体性」をはぐくむことの重要性が注目され、園の行事や遊びについても問い直されています。

**千葉真** 運動会や発表会といった行事は、ともすれば出来映えを気にするあまり、先生たちがどんどん進めて子どもを引っ張っていく感じになってしまいがち。一方で、子どもが色々な体験を積んだり、保護者と子どもの成長を共有するという面もあり、中身を吟味し知恵をしばっていく必要があると思います。

上堂ホサナ保育園では、子どもが集中できる時間や楽しめる時間をよく話し合って行事の計画を立てています。今年度は初めて「花の日礼拝」を持ち、近所の方々に園児が手作りの花を届けて、感謝の気持ちを伝えました。涙ぐんで喜んでくださった方もいて、1、2歳の園児たちでも感じるころがあったのではないのでしょうか。とても良い時になりました。

**前田** きたくり保育園も6月に、初めて「花の日」の時を持ちました。園長から教職員に花の日の意味を説明した上で、2、5歳児各クラスの担任の先生から子どもたちに伝えてもらいました。年長組と一緒に花の寄せ植えを作り、給食の食材を運んでくださる商店や郵便局、消防

署、厨川駅、県北バス営業所へ、お散歩をしながら届けました。地域の方がとても喜んでくださって、子どもたちとも、地域の方にいつも見守っていただいているんだよ、忘れちゃいけないよね、お花も私たちも神さまが与えてくださったかけがえないものだよね、と話し合う機会になりました。

**千葉律** 一概に行事が駄目だということではなく、保育者が環境を設定してこそ、子どもたちが、さまざまな経験を積めるともいえます。組み体操やクリスマスマスのページエントの発表のためにはもちろん練習も必要ですが、達成感も計り知れない。子どもたちが、さまざまな体験を通して経験値を重ねていけるよう工夫したい。一人ひとりの成長の姿を丁寧に保護者と共有し、目標を持って取り組むことも大事にしたいです。

**阿部** 青山幼稚園は「好きな遊びを見つけよう」という活動を始めました。汚れてもいい服装で、はだしになり全園児で一斉に遊びます。要所、要所で保育者が見守りますが、遊び方に口は出しません。色水や寒天で遊べるコーナー、黒土を入れて泥遊びや泥団子作りができる場も設けました。ままごと遊びの素材として駐車場の草も刈って運びこみまし

た。水を流してダムのような遊びが始まったり、「パスタみたいだね」と草を入れた鍋を上手に動かす子がいたり、濡れていない子がいないというくらい自由に遊び、楽しそうでした。

小さいお友達が年長組のお友達が使っているものを「貸して」と言って貸してもらったり様子や衝動的な動きが目立つ子どもが好きな遊びを見つけて集中して遊ぶ様子も見られました。いろいろな発見があつて保育者も手応えを感じているのではないのでしょうか。

**前田** きたくり保育園は新しい園庭が完成しました。園庭で自由に主体的に遊ばせるためには、保育者が危険を把握していなければなりませんし、十分な準備が必要ですが夢が膨らみます。どんな環境であれば、子どもたちが遊び込めるのか、子どもの姿を見ながら話し合い、子どもたちがやってみたい。先生たちが経験させたいと思うことを実現したいです。

※「花の日」 花も人も神様から与えられ、守られ、愛されて育ってきたことを感謝する日。キリスト教会では花と子ども中心の礼拝がささげられます。19世紀に米国で始まりました。



感触を思う存分、楽しんで（青山）



砂場に思い切り水を流して（のぞみ）

子どもたちに備えられた力を伸ばしていくために、また「選ばれる魅力的な園」になるために、どんな努力が求められるでしょう。

**千葉真** なんとと言っても、保育者の熱意が求められますね。

**前田** 自分を肯定できる力があってこそ何かに挑戦でき、困難な時に、もう一歩、踏み出せる力になると思います。子どもたちが「自分は自分でいいんだ」と自信を持てるよう関わっていききたい。盛岡の4園は近年、人事交流も盛んに行われるようになって、どの園にも気心が知れた先生がいます。それぞれの特長を活かし、知恵や互いに持っているものを提供しながら、連携をしていくことが大事だと思います。きたくり保育園は、新しく歴史を作り上げていく園だからこそその魅力もあります。

**千葉律** 自分が、どんな園に子どもを預けたいか考えた時、子育ての悩みを打ち明けられ、寄り添ってくれる園に預けたい。保護者がいつでも相談できるような雰囲気大切にしたいです。盛岡4園は、管理職者同士も、悩んだとき

互いに意見を求めることができる関係。心強いし、力を合わせて盛り上げていければ。子どもたちには、たくさん経験の積み重ねでほしいです。

**阿部** 選ばれる魅力的な園になるためには、伝統を守りつつも、新しいことにも挑戦し、園の特長を出し、現代にあった保育を作り上げていくことが求められていると思います。子どもは一人ひとり個性があって同じ子は一人もいない。その個性を伸ばせるような環境にしたい。そのためには連携交流は必要ですし、どんどん進めていきたいです。



きたくり・上堂ホサナ 給食会議

上堂ホサナ保育園の給食は、きたくり保育園で調理されています。保育者や栄養士、調理担当者が集まり、さまざまな食材や味にふれてもらう献立の工夫、離乳食の進み具合、衛生管理などを定期的に話しあっています。発達段階にあった食器の選定、提供についても丁寧に検討しています。



どこまで高くできるかな (青山)



礼拝堂の中をハイハイ (のぞみ)

# 青山幼稚園創立70周年 未来へ光を求めて

盛岡市青山に1954年開園した青山幼稚園は本年の9月7日で、創立七十周年を迎えます。神様の導きと教会員をはじめ、保護者、地域の皆さまのお支えに心から感謝いたします。

青山幼稚園がある青山地区は、陸軍の演習場であった「観武ヶ原」（みたけがはら）と呼ばれる一帯が開拓されて誕生した町です。戦後の混乱期は、中国大陸や樺太からの引き揚げ者が旧陸軍兵舎を仮住まいにし多数居住。人々の苦勞と努力の積み重ねによって、新しいまちが形づくられていきました。そんな中、当時、盛岡で伝道していた宣教師や牧師、クリスチャン青年たちも人々に寄り添い、生活環境の改善や暮らしの復興に尽力。信仰に基づくこうした活動や伝道のもとで青山町教会がたてられ、教会の附属園として青山幼稚園が誕生しました。

当時を知る高齢者は、朝晩に教会の塔から聞こえてくる鐘の音色を今でも懐かしく思い出すそうです。地域の人たちから「鐘の鳴る教会・幼稚園」「林の中の教会・幼稚園」「アヒルのいる幼稚園」と呼ばれ、親しまれてきました。青山地区では一番歴史の長い幼児施設で、青山町の形成・発展と共に歩んできたと言えます。

1985年には遠野市の遠野聖光幼稚園（現・認定こども園めぐみ遠野聖光こども園）と共に学校法人岩手キリスト教学園を設立します。教育・保育の場として社会的にも広く認められる体制を目指すため、その後、学園には、紫波町の日詰幼稚園（現・認定こども園ひかりの子）、盛岡市のぞみ幼稚園（現・認定こども園のぞみこども園）、宮古市のひかり幼稚園（現・認定こども園宮古ひかり）が加入し、現在の学園に至る

基礎となりました。共働き世帯の増加に伴う保育需要の高まりや子育て支援の充実の必要性から、2010年代前半に各園が相次いで認定こども園に移行し、0歳児から保育できる環境を整えました。青山幼稚園は2014年に、2歳児から受け入れられる保育機能施設すみを園内に開設。翌年、子ども・子育て支援法の施行に伴って、2歳児から保育できる幼稚園型認定こども園に移行しました。さらに2020年には連携園として0・2歳児対象の上堂ホサナ保育園を開設。施設間の連携によって、子どもが誕生して間もなくから就学前まで一貫してお預かりできるようになりました。発達課題の有無にかかわらず、同じ空間で保育することを伝統的に大切にしており、専門機関と連携しながら、一人ひとりの育ちに寄り添っています。さらに地域の子育て支援にも力を入れ、未就園児サークルの活動などに積極的に取り組んでいます。

2023年度までに青山幼稚園から2779人が巣立ちました。幼稚園を取りまく環境は大きく変化しましたが、開園当時から現在に至るまで柱としてきたのは、子どもを愛され、大切にされたイエス・キリストの精神による保育です。このため、保育者は園児の個性を大切にし、心豊かにされていくことを祈りつつ、保育にあたっています。

子どもたちに目がよく行き届く規模の園である利点を生かし、丁寧に関わりながら、子どもたちが安心して伸び伸びとすごせる育ちの場を提供していきたいと考えています。「VUCAの時代」と言われ、世の中は複雑さ、予測困難さを増しています。しかし、どんな時代にあっても未来へ光を求め、希望を持って歩む力を神様が子どもたちの中に備えてくださっていると感じ、共に歩みます。



# おうちの人と一緒に楽しむ ～ファミリーフェスティバル～遠野聖光こども園

遠野聖光こども園は6月29日、ファミリーフェスティバルを遠野市民体育館で開催しました。

入園・進級して3ヵ月経過したこの時期のファミリーフェスティバルは、子どもたちの成長を共に祝う大切なひとときです。例年は「運動会」として、家族に見てもらうことがメインの行事でしたが、今年はねらいを見直して、家族が一緒に参加して楽しむ「フェスティバル」を企画しました。

オープニングは、年長（みどり）組 15名による表現「パラバルーン」。お気に入りの曲「ダンスホール」のメロディーにのって、ダンスはのびのびと歯切れ良く、バルーンも見事に膨らんでバッチリ決まりました。

開会式から始まる第一部は、クラスごとの徒競走や障害物競争、チーム対抗全員リレー、最後まで頑張って走り抜く姿に、会場いっぱいの声援や拍手に包まれました。

第二部は今年、初めての新たな企画です。「～親子で身体を動かして楽しもう！～」と、親子で一緒に楽しむコーナーを体育館全面に設定しました。

①親子でじっくり遊ぶコーナーと②親子で集団遊びのコーナーです。

①は、的当て遊びや輪投げ遊び、一本橋、ブロック積み遊びなど、じっくりと遊ぶコーナー。親子で集中してブロック積みに興じる姿が見られました。②は、身体をいっぱい動かして遊ぶコーナーです。Aコートは、玉入れ、カードめくり対決、Bコートは手繋ぎ鬼ごっこ「オオカミさん今何時?」。追いかけるオオカミから逃げようと、親子で手を繋いで夢中に駆け回る姿に笑顔と歓声が溢れていました。

会場の保護者から、感想をたくさん伺うことができました。「園での子どもの様子、お友達との関わりなど、普段見ることのできない子どもの姿を見ることができて新鮮な発見でした」「家族と一緒にいっぱい汗をかいて夢中になりました。運動不足解消です」「子どもと一緒にいっぱい遊び触れあいができて楽しかった!!」「まさにフェスティバルでした!」「遊園地に遊びに来るよりも今日は楽しかったです!!」

6月の保育テーマは「見つける」です。普段の保育の中で、いろいろな発見を重ねてきた子どもたち。フェスティバルは親子の絆を再発見し、貴重な一日となりました。

保護者の皆様のご協力に感謝します。（敬）



子どもも大人も張り切って紅白玉入れ



バッチリ決まった年長組のパラバルーン



おうちの人と一緒にブロック積み遊び



## 思い出の桜を活かした歩廊・園庭が完成

### きたくり保育園

きたくり保育園の正面玄関に続く歩廊（アプローチ）と園庭が6月末に完成しました。2023年春に新園舎が完成。その後、旧園舎の解体工事があり、2024年2月から歩廊や園庭の整備が行われていました。一部、駐車場の工事が来年度以降に予定されていますが、当初予定の環境がほぼ整いました。園舎は鉄筋コンクリート造2階建て、延べ床面積1020平方メートル、園庭は670平方メートルです。

正面玄関に続く歩廊の梁は、旧きたくり保育園・園庭の桜を活用したもので、これまで積み重ねられてきた歴史を大切に、より豊かなものを未来へ引き継いでいこうという決意を込めました。歩廊の下はブロックを石畳ふうに通し敷き詰めてあり、園庭と行き来しながら、雨の日もさまざまな活動ができます。新しい環境を活かして、子どもたちがやってみたいことを実現していきたいと思います。



園舎正面に新しい園庭が完成



思い出の桜を活かした歩廊

## ギタリスト井草聖二さん ミニコンサート

### のぞみ学童保育クラブ

国内外で活躍するギタリスト井草聖二さんのミニライブが4月5日、のぞみこども園ホールで開かれました。のぞみ学童保育クラブの1～6年生25人と教職員、合わせて約40人が参加。アコースティックギターの豊かな音色と井草さんのトークに耳を傾けました。

井草さんは、ギターの音の出る仕組みを分かりやすく解説しながら、メロディーパートもリズムパートも奏でられる魅力を紹介。ディズニーアニメやジブリ作品のテーマソングなど表情豊かに演奏しました。

中学時代、不登校を経験し、部屋にひきこもっていた時期もあったという井草さん。礼拝堂に偶然、置かれていた一台のギターとの出会いが人生

を変えるきっかけになったと言います。そして、何より自分を心配し、1年以上熱心に祈ってくれた友達の存在が大きな励ましに。「嵐のように嫌なことも起こりますが、困難な時こそ、神様の愛は現れます」「友達が病気の時、困っているとき、友達のために祈ってあげてください」と語りかけました。

上田小5年の鈴木理佳さんは「思った以上に低い音も高い音も出ていた」と深みのあるギターの音色に刺激を受けた様子。同小6年の道又莉帆さんは「ギターの生演奏は初めて。知っている曲もあって楽しかった」と声を弾ませました。



豊かな音色を響かせた  
子どもたちと交流した  
井草聖二さん



# 伝えたい本の力 ～夏編～

本格的な夏が到来！キャンプ、花火、海水浴など楽しい計画をたてている家庭も多いかもしれません。思い切り活動した後は、お部屋の中や涼しい木陰で本に親しむのも良いものです。今号はキリスト教幼児ブッククラブ「こひつじ文庫」について紹介します。

## 「こひつじ文庫」とは？

専門家が選んだ良質な絵本を毎月、ご家庭にお届けするブッククラブです。キリスト教保育の園で親しまれている優れた絵本が紹介できるよう設立され、今年41年目を迎えました。出版社・取次会社・書店が力を合わせているのが特徴で、他に類のないブッククラブです。

毎月配本される絵本には、アドバイザー書き下ろしの「読み聞かせのまえに」が差し込まれていて、お子さんと絵本を楽しむ時間をさらに豊かなものへと導いてくれます。

今はどこにいても情報が溢れかえっている時代。いったいどんな絵本を選んだら良いか、さっぱりわからない…と悩んでしまうことはありませんか。「こひつじ文庫」は決して派手ではありませんが、長い間、子どもたちに愛され、繰り返し読まれたロングセラー絵本が選ばれています。そのラインナップは間違いない！と私たち書店員も信頼しています。



## 善隣館書店員おすすめの一冊 ～「こひつじ文庫」のラインナップから～



### てぶくろ

1965年 福音館書店  
絵 エウゲーニ・M・ラチョフ  
訳 うちだ りさこ

ねずみ、かえる、うさぎ、きつね…民俗衣装を着た動物たちが次々と登場。雪の降りしきる森の中に落ちていた手袋にもぐり込みます。食うか食われるかの関係にある動物たち。それでも「どうぞ」と仲良く手袋の中に納まります。仲間はどこまで増えるのでしょうか。ページをめくるたびに「今度誰？」「まだ入れるの？」とドキドキします。ウクライナ民話をベースにした50年以上、読み継がれているロングセラー絵本。民俗の共存、対立、平和への願い…。大人は民話が語り継がれてきた歴史的背景も深読みしてしまいます。（佐々木章・談）



### おいしいおと

2002年 福音館書店  
文 三宮 麻由子  
絵 ふくしま あきえ

ご飯を食べる音というと普通は「ムシャムシャ、モグモグ」などを思い浮かべますが、本当は違いますよね。はるまき、ホウレンソウのおひたし、みそ汁のワカメ、ウインナー…。口に運ぶ音がリアルに、しかもすごく素敵に表現されていて、香り、味、歯ごたえまで想像してしまいます。作者の三宮さんは4歳で視力を失いました。光のない世界に生きているからこそ、一つひとつの音がより輝きを持って響くのかもしれません。読み聞かせの魅力が倍増します。（浜田陽子・談）



### 子どもからの贈り物

1998年 こぐま社  
ひぐち みちこ 著

「ひまわりの種はほんの指先ほどの小ささなのに、地面に播かれ、水が注がれて、太陽の熱と光を浴びて芽吹き、大きくなると、太い茎に葉が何枚もついて、やがて真夏の暑さにも負けない大きな花が咲きます。（中略）人間の子どもの中でも、それだけで完結する実りというものがあるはず」（本文から）。19年前に手にし「もっと早く出会いたかった」と思った一冊。子どもが「その子らしさ」を生かして成長できるように、親も自分らしさを生かして子育てを楽しめるように。心からのエールに何度も励まされました。（大森紀代美・談）

# きらめき絵本セミナー

長く読みつがれた絵本の力～子どもの心とことばの力を育む大切なもの

吉井康文さん 絵本・児童書の専門店「緑のゆび」店主  
こぐま社 前社長



「絵巻えほん11ぴきのねこマラソン大会」（馬場のぼる作 1984年 こぐま社）を紹介する吉井さん（宮古ひかり）

絵本・児童書の専門店「緑のゆび」店主で、こぐま社前社長の吉井康文さんを講師に迎え、6月28、29の両日、盛岡市と宮古市で絵本セミナーが開かれました。善隣館書店と学園の連携事業の一環。教職員らが耳を傾け、子どもの心と言葉をはぐくむ絵本の力について理解を深めました。

吉井さんは「100まんぴきのねこ」（ワンダ・ガアグ作 1928年 福音館書店 1961年）「あおくとときいろちゃん」（レオ・レオーニ作 1959年 至光社 1967年）、「しろくまちゃんのほっとけーき」（わかやまけん作 1972年 こぐま社）など時代の異なる12冊の絵本を紹介。長く読み継がれてきた絵本の魅力を語りました。

スマホ、SNSなどコミュニケーションツールが急速に発展する一方で、肉声による語り掛けやスキンシップは激減しています。人と人とのふれあいが希薄になる中で、親や保育者から絵本を読んでもらう時間は、かけがえないもの。冒険や挑戦を経て成長し、安心できる場所に戻ってくる「行きて帰りし物語」が多くの絵本の共通テーマになっていることにもふれて「心の成長に大きな役割を果たしている」と解説しました。

また、絵本について「文字を読むだけでなく、絵を読

むもの」とも。挿絵は、わくわくして次のページをめくってもらうため、作者の創意工夫にあふれているといえます。自然に主人公の気持ちになれるよう遠近法で登場人物の大きさを変えていたり、別の作品に登場するキャラクターを背景にしのばせていたり。機関車が主人公の絵本では、文章そのものが「線路」に見えるよう文字数や配列まで工夫されたページもあります。

「どんなに時代が変わっても、子どもの中に変わらない普遍性がある。その絵本の中の普遍性と子どもの中の普遍性が出あったときに『もう一度読んで』と子どもはせがむ」と吉井さん。「子どもは一人では絵本と出あえない。それを出あわせるのが親や保育者。みなさん自身が絵本を楽しんでほしい」と呼び掛けました。

盛岡市でのセミナーは館坂橋教会で開かれ、盛岡地区の教職員ら33人が参加。宮古市でのセミナーは認定こども園宮古ひかりを会場に、同園とぶどうのきの園内研修会として行われました。



吉井さんの講話に耳を傾ける教職員（館坂橋教会）

（有）キリスト教センター善隣館書店

〒020-0025

岩手県盛岡市大沢川原3-2-37

奥羽キリスト教センター1階

TEL/FAX 019-654-1216

# きらめきつうしん

各園から子どもたちや教職員の様子をお伝えします

## 認定こども園青山幼稚園

主任保育教諭 伊藤 寛美(いとう・ひろみ)

今年度初めての取り組みで、「好きな遊びを見つけよう」という活動を行いました。

主体的に自分で好きな場所に行き、気に入った物で遊び込む楽しさを味わえるようになることをねらいとしています。

色水や寒天遊びに夢中になる子ども達は、「ジュースみたいにしよう!」「この色とあの色混ぜてみたい!」「カラフルなゼリーを作りたい」と会話も弾んでいました。キッチンコーナーでは、道ばたに生えているような草を用意しておく、フライパンで炒め始め…プロのシェフかな?と目を見張る場面もありました。泥遊びや泥団子作りは、始めは控えめでしたが慣れてくると汚れることを気にせず、触ったり跳んだりダイナミックに楽しむ姿がみられました。保護者の皆様のご協力があればこそこの活動。今後も遊びを展開しながら子ども達一人一人が好きな遊びを存分に楽しめるような環境作りをしていきたいと思ひます。

## 園庭で思いっきり遊んだよ!



## 認定こども園めぐみ遠野聖光こども園

副園長 菊池 千咲(きくち・ちさ)

## 自園給食始まる

5月1日から自園給食が始まりました。幸い栄養士、調理師の採用が決まり、始めるにあたっては、宮古ひかりへ出向いて、色々なアドバイスをいただきました。献立も参考にしながら進めています。短い期間で準備できたのは、様々な方々のご協力があったことが大きいと思います。神さまが必要に応じて助けてくださったことに感謝します。

こどもたちは「おいしいねえ」と言いながら食べています。これからもアレルギー対応など十分に気を付けながらおいしくて安全な給食を提供できるようにしていきたいと思ひます。



## 認定こども園ひかりの子

主任保育教諭 武田 温美(たけだ・あつみ)

### 遊び参加月間 ～遊びの大切さを共有～

ひかりの子では、学年毎に数日に分けて保護者を招き、園の遊びに参加していただく機会を大切にしています。園の特徴的なコーナー保育や、主体的に遊べる園庭の紹介、年齢毎の今の育ちや大切にしている事を踏まえつつ10の姿を保護者と共有してから遊びに参加していただきます。

保護者は「遊びとは？」を探りながら思い切り身体を動かしたり、相談しながら製作を楽しんだり、時には意見の違いから共に悩みながら子どもに寄り添って遊びます。遊び後の受け止めでは、子どもたちが自ら選択し「やってみたい」を実現することで自主性が生まれ、探求心や協調性等が育まれている事、異年齢で遊びを展開する中で互いに刺激し合いながら心が豊かになる事、遊びには保育者のねらいや願いが込められている事などを共有しました。園が伝えたい「遊びの大切さ」を発見していただき、恵みの時となったことに感謝します。



## アガペ保育園

副主任 及川 理恵(おいかわ・りえ)

### お誕生日おめでとう！

6月の誕生会が行われました。誕生児には、園長先生から「抱っこ」のプレゼントがあります。歌に合わせて、保育者とタッチをしたり、「おめでとう！」と言葉で祝福したりします。毎回盛り上がるコーナーで、参加している子ども一人ひとりの姿が愛しく感じられる場面です。

「ぼんぼんポケット」さんをお迎えし、楽しいプレゼントをして頂きました。わらべうたと共に、動物のパペットが可愛らしく動く姿に夢中の子どもたちでした。誕生児の保護者と一緒に、みんなでおいしく給食を食べて終了です。これからも1年に一度の「誕生会」を大切にしていきたいと思います。



## 認定こども園のぞみこども園

保育部主任 加藤 明子（かとう・あきこ）

## 世界中の子どもたちが♪

のぞみこども園は岩手大学のまさに目の前です。子どもたちは、岩手大学へあそびに行くのが大好き！春は、桜のお花見から始まり、散歩はもちろん、夏はザリガニ釣り、秋はミニ遠足に、どんぐり拾いと一年中楽しんでいきます。岩手大学が近いこともあり、のぞみこども園では、開設当初から多文化交流保育をしています。モンゴル、アメリカ、タイ、中国、ロシア、など様々な国の園児を大切にお預かりしてきました。

言葉の壁はあるものの、子どもを”まんなか”に通じ合う事ができています。今では、Google翻訳という便利なサービスもありますが、10年前は最低限の英語でやり取りしていた事を懐かしく思い出します。日本語が難しい保護者の方も、少しずつ日本語が上手になっていく姿もまた喜びなのです。現在、0歳児とは組には3名の園児が在籍しています。先生方は言葉の壁や、食や文化の違いに難しさを覚える時もあるようですが、お子さんを一緒に育てていくパートナーとして、園児の家族を支えています。そんな先生たちは、いつも本当に楽しそう！笑顔があふれる保育室、先生方の手づくりおもちゃ。のぞみに来てくれた子どもたちが世界に羽ばたいてくれるのが楽しみです。



## のぞみ学童保育クラブ

放課後児童支援員 渡邊 冴（わたなべ・さえ）

## 音楽との出あい～挑戦するきっかけに

1学期、のぞみ学童保育クラブの子どもたちは素敵な音楽に触れる機会に恵まれました。4月にはギタリストの井草聖二さん、7月には牧師でフルート奏者の木下春樹さん（姫路市）の演奏に耳を傾けました。子どもたちがギターやフルートの音色を間近で聴くのは、ほとんど初めて。素晴らしい音色で奏でられる素敵な音楽に興味津々の様子でした。

また、楽器を直接、触らせてもらい、音が出る仕組みなども学ぶことができました。「かっこいい！すごい！」と目を輝かせる子どもたち。音楽や楽器との出あいが、様々なことに興味を持ち、挑戦していくきっかけにもなったのではと期待しています。



## 認定こども園宮古ひかり

教頭 藤田 雅子（ふじた・まさこ）

友達と靴とり鬼やサッカー、砂、泥、水遊び等を楽しんで過ごしています。ある日、容器（ティーポット）に水を汲んで運ぼうとしたら偶然に（蓋をしたことによって注ぎ口から）水がピューッと飛び出しました。友だちと顔を見合わせ、一瞬の間があってキャハハハハ！そして、その後はどこまで水を飛ばせるか試して楽しんでいました。

また、多機能固定遊具のてっぺんで、A君が「落ちるからB君どけて！」と何度も大声で叫んでいました。B君もその前に上っていて目の前で動かずにいます。B君への訴えというよりは保育者にむけての叫びでした。

しばらく同じ状況が続いていたので降りてくるように声を掛けました。「どうしたの？」と普段はお互いの思いを聞くところですが「どうしたら良かったのか2人で話してみて」と玄関ホールに2人だけで話せる場所を提供してみました。冷静に話し合い、テントウムシの所を2人でつかめば良かったという結論になったようです。2人で話をして自分たちで解決できたことですっきりした表情で戻ってきました。共感したり、自分たちで考え、気づくことによって相手の思いをくんだり、葛藤したり、折り合いをつけながら関係性を築いていることを感じます。

## 笑ってもけんかしても思いは一緒



## 家庭的保育事業ぶどうのき

園長 佐々木 妙子（ささき・たえこ）

## 花の日礼拝を通して

先日お散歩で、薔薇の花をたくさんいただきました。早速玄関に飾り、翌日の花の日礼拝で薔薇と園に咲いていたビオラを前に置いて礼拝しました。その後、5月に子どもたちが蒔いた20鉢の朝顔に、子どもたちの描いたはじき絵をカードにしてご近所にお配りしました。皆さんが、去年の朝顔を大切に育てたことや種を取っておいて今年も育てていることなどを話していただき会話がはずみました。また、早速プランターに植え替え、子どもたちが公園に遊びに行った時に見て楽しめるような場所に置いてくださる方もいました。花の日を通して、神さまとご近所の皆さまに愛され見守られていることを感じました。ありがとうございます。





## 上堂ホサナ保育園

保育士 嘉登 礼奈(かと・れいな)

### 大きくなるのが楽しみだね！

2歳児クラスでは、園庭のプランターにトマトの苗とジャガイモを植えて、子ども達と一緒に世話をしています。トマトの苗は自分たちでお店に行って選んできたもので、カードに描いてある写真を見て選んだり、育苗ポットの色にひかれたりなど、その子によって選ぶ基準があるようでした。

晴れている日には水やりをしているのですが、自分のマークがついているトマトは特に大切にしている姿が見えます。「（お水を）もっと欲しいって言うてるよ！」と何気ない一言からも、お世話をしたい気持ちが伝わってきます。

毎日見ているおかげか、「お花が咲いてるよ」「葉っぱがいっぱいだね」と変化にもすぐに気が付いて教えてくれることがあり、一緒に成長を見守っています。

## フリースクールこといろ

ひかりの子 子育て支援課長

小田中 悦子(おだなか・えつこ)

### 「子は十色」心動かされる関わりを

フリースクールこといろは、ひかりの子の理念同様、自己肯定感を育むことを大切にしています。「こといろ」は、「子は十色」という意味があります。2016年度に不登校児の「居場所作り」を目的として始めました。2021年度紫波町教育委員会より出席扱いが認められ、今に至ります。現在5名が登録しています。

こといろで過ごす時間の中に「ことば」「へいわ」「かんがえる」「ことわり」「せいかつ」の5項目を位置づけ、その子自身が心動かされて活動できるように寄り添うことを大切にしています。調理・講座・体育・朝の会・帰りの会・掃除などの生活の動きや話し合いの場を通して子どもの主体的な学びを支えています。

また、大人がすべて判断し何かを決めるのではなく、一人ひとりの力を引き出し、お互いの良いところを大切にしながら、自分自身で決めて、目標や願いに向かっていけるように関わっています。得意も不得意も違うメンバーがお互いの良さや苦手を受け入れながら人と関わることの楽しさや面白さをスタッフも一緒に経験しています。



## きたくり保育園

保育士 浅沼 千春(あさぬま・ちはる)



### あらためて…「ありがとう」

色とりどりの花が美しく咲く季節となりました。

今年度は新たな行事として「花の日」を行いました。日頃よりお世話になっている4つの施設を二歳児から五歳児の子ども達が訪問し、「いつも見守ってくれてありがとうございます。これからはよろしくお願いします」というメッセージと共にお花を届けました。

子ども達はクラスの先生から「花の日」について大切な意味を教えてもらいました。5歳児の子ども達を中心となってお花の寄せ植えを作り、当日を迎えました。道中では「ドキドキする～緊張する」という声はありましたが、心を込めてお花をお渡しすることができました。子ども達の思いもまっすぐ届き、お花を受け取った皆さんはとても喜んで下さいました。また子ども達の表情も清々しく達成感に満ち溢れていました。

改めて私たちの周りには成長を見守って下さる方がたくさんいらっしゃることに気づき、どんなときも「ありがとうの心」を持てる心優しい子ども達に育てて欲しいと思いました。

学園の教育・保育施設は2024年7月現在、認定こども園5施設、小規模保育所2施設、家庭的保育事業所1施設、保育所1施設です。他に学童保育クラブ1施設、フリースクール1施設を運営しています。キリスト教保育を柱に各園が連携し、地域の子育て世帯のよりどころとしての働きを目指しています。未就園児の親子等を対象にした子育て支援事業にも取り組んでいます。日程は、各園へお気軽にお問い合わせください。

#### ●認定こども園青山幼稚園

(保育機能施設すみれ)

盛岡市青山3-6-27

電話019-647-0223

#### ●認定こども園めぐみ遠野聖光こども園

遠野市中央通り3-10

電話0198-62-2150

#### ●認定こども園ひかりの子

(フリースクールこといろ)

紫波町日詰字下丸森130

電話019-672-2542

#### ●認定こども園のぞみこども園

(のぞみ学童保育クラブ)

盛岡市館向町21-7

電話019-624-5651

#### ●認定こども園宮古ひかり

宮古市西町3-3-26

電話0193-62-6845

#### ●上堂ホサナ保育園

盛岡市上堂1-4-10

電話019-656-0235

#### ●アガベ保育園

紫波町日詰字郡山駅184-1

電話019-613-2635

#### ●ぶどうのき

宮古市山口3丁目2-23

電話0193-65-6283

#### ●きたくり保育園

盛岡市厨川1-7-1

電話019-641-4330

## 2024年度予算 12億9584万円 寄附行為改定へ 2025年4月改正私学法施行

学校法人岩手キリスト教学園の第136回理事会が2月29日、第137回理事会が5月31日、いずれも盛岡市の日本基督教団館坂橋教会で開かれ、2024年度事業計画・予算、2023年度事業報告・決算を可決しました。

学園全体の2024年度予算は12億9584万円。きたくり保育園の園舎・園庭整備など大型事業のための借り入れ、支出のあった前々年度、前年度に比べ予算規模は縮小しました。今年度は保育の質の向上や子育て支援サービスの充実に向けて各園が取り組みを進める他、学園全体では2025年4月の改正私立学校法施行に向けた寄附行為の改定、学園評価の見直し、ハラスメント対応マニュアルの充実などに取り組みます。コロナ禍後の出生数の減少は顕著で、各園とも定員の見直しや園児獲得に向けた努力が求められているところです。一方、2023年度収入支出総額は16億5172万円でした。

**表紙の写真：**創立70周年を迎える青山幼稚園。子どもたちに好きな遊びを自ら見つけてもらうことをテーマに「主体的な遊びの時間」を設けています。園庭や保育室を開放し、ままごと、砂遊び、積み木など、さまざまな遊びができる環境を設定。全園児がクラスの枠を超え、自由に移動しながら好きな遊びをします。積み木をドミノのように並べたり、倒したり。園児たちの心の中には、どんな物語が浮かんでいるのでしょうか。

## 4月1日から新・就業規則を施行 学園の永続性を念頭に

社会が急激に変化する中であっても、学園を永続的に健全運営していくことを念頭に、4月1日付で就業規則を全面改定しました。保育業界に精通した社会保険労務士の助言を得て前年度から検討を重ねていたものです。各園の裁量にゆだねられる部分が多かった労務についてルールを統一し、適正管理できる態勢を整えました。今後さらに管理職者や事務担当者らの研修を重ね、コンプライアンスの徹底や経営改善につなげていきます。

## 新理事に高橋寿雄氏

### 中原真澄氏、新田維子氏は退任

中原真澄氏が3月31日付で学園理事を退任しました。中原氏は2016年4月から学園理事を務めたほか、3期にわたってハラスメント相談窓口委員長の職責も担っていただきました。また、新田維子氏は5月31日付で学園理事を退任しました。新田氏は遠野聖光こども園の前身である遠野聖光幼稚園をはじめ各園で約50年にわたって幼児教育・保育に従事。1989年4月から学園評議員、2003年4月から学園理事を務めました。長きにわたるご尽力に心から感謝します。

新しい学園理事に高橋寿雄氏（遠野教会員）が6月1日付で就任しました。

★新田氏の名前は、正しくは「維」に草冠です。

## 編集後記

青山幼稚園は地域の方々に支えられて70年の歴史を刻んできました。青山三丁目は、戦後、樺太や大陸から引き揚げた方々によって形成された地域です。当時、地域の人々の心をつなげるために「青山三丁目の歌」が作られました。今は知っている人もほとんどいなくなったこの幻の歌を、次世代に伝えられないかと思案しています。「我らが築いたこの街を、今日も見てるぞ、岩手富士、年寄りも、若きも心は一つ。さあさガッチリ手を組んで、進むぞ、進むぞ、青山三丁目」（敬）

夏になると夏バテをする事が多いのですが、昨年は夏バテせず過ごすことができました。食事からの栄養と酵素などを取り入れたせいかと思い、今年も栄養面を意識して過ごしたいと思います。私の栄養面は園のお給食に大部分支えられており、日々とても感謝して過ごしています。（小）

宮古ひかり・ぶどうのきには「フラダンス部」があり、有志の教職員が、心得のある保護者の方を指導者に迎えて練習に励んでいます。7月の園内研修会で、そのフラダンスが披露され、他の先生方も拍手喝采！日々の保育に加えて、趣味の活動でも一緒に盛り上げられるなんて素敵だなと思いました。（恵）

## 2024年度の園児・職員数（7月現在）

|        | 園名    | 3歳未満 | 3歳以上 | 合計  | 教職員 |
|--------|-------|------|------|-----|-----|
| 認定こども園 | 青山    | 6    | 60   | 66  | 23  |
|        | 遠野    | 31   | 45   | 76  | 28  |
|        | ひかりの子 | 48   | 117  | 165 | 37  |
|        | のぞみ   | 28   | 91   | 119 | 41  |
|        | 宮古ひかり | 31   | 82   | 113 | 33  |
| 小規模    | ホサナ   | 9    | 0    | 9   | 7   |
| 保育所    | アガベ   | 18   | 0    | 18  | 9   |
| 家庭的保育  | ぶどうのき | 5    | 0    | 5   | 4   |
| 保育所    | きたくり  | 31   | 32   | 63  | 25  |
| 合計     |       | 207  | 427  | 634 | 207 |

※のぞみ学童・在籍者36人、フリースクールこという・在籍者5人

※青山・のぞみ、遠野・宮古ひかり、ひかりの子・アガベは園長兼任（教職員実人数204人）

※法人本部職員は青山に2人、のぞみに2人（善隣館書店出向1人を含む）所属

※満3歳児は3歳未満に数えています

きらめき第11号 発行日／2024年7月15日

発行人／村上義治

編集／学校法人岩手キリスト教学園

法人本部：岩手県盛岡市上堂一丁目4番10号

TEL019 - 656 - 0237 FAX019 - 656 - 8672

郵便振替：02270 - 2 - 129076

名義：学校法人岩手キリスト教学園